



# 11月 あひるぐみだよ!

今月上旬には早くも立冬を迎え、暦の上では冬となっています。芋ほりやクッキング・親子遠足など秋の活動を体験し、友達を誘ってかくれんぼやおいかけてをして力いっぱい園庭を駆け回るこどもたちは、寒い冬を吹き飛ばす準備がもうできているようです。

## ♪ドングリころころ どんぶりこ♪

津田公園野球場へ秋の自然を見つけにでかけました。手前にある歩道橋を利用するのが初体験の子も多く、「手すりをもつ」「前の人を押さない」など安全に通るルールを確認しながら渡りました。階段を上りきると、足下を通過する車がおもちゃのように見え「わ～車が小さいね」と喜んだり、逆に手の届く距離に見える信号機を「大きいね」と驚いたり、見るものの視点がかわると物の大きさが変わる不思議さを感じました。



津田公園につくと、ドングリや小枝、落ち葉など、夏にはなかった光景が広がり、子どもたちも目をキラキラと輝かせました。お手製の散歩バックを肩から下げ、必死に宝物をみつけます。ドングリは茶色や緑と色が違い、思い思いに好きなものをバックにいれました。キレイな形のものを持つ子が多い中、あえてひび割れたドングリを選んでいる子もいます。子どもの感じるものがそれぞれ違ってどの子も個性的でおもしろいです。今は拾った自然物を取り入れた遊びを体験している真っ最中です。



ドングリ転がし



マツボックリのすべり台



## 保育士体験を終えて パート① ～あひるぐみ～

コロナ禍で日常の保育を保護者の方にみていただく機会が少ない中、11月上旬、本園あひるぐみの希望者の方に保育士体験をしていただきました。自分のお子さんの園生活を見学できると同時に、絵本の読み聞かせや散歩の引率の他、直接子どもに関わらない雑務などもお手伝いしていただきました。

エプロンの米粒とりのおかげで洗濯が楽にできていました。知らない間に助けられていました。

優しくあたたかくご指導くださった先生方をはじめ子どもたちの純粋なまなざしに支えられ貴重な体験ができました。

息子の友達との関わりが見られて安心しました。また先生方が明るく良い雰囲気子どもに接しているので、みんないい顔をしていました。

今日感じたことは、決して先生が子どもにベタベタするわけではなく「支え」になっておられると思いました。その距離感が勉強になり、親にしかできない「甘え」も大事ですが「支え」も今後の子育てに意識してみようと思います。

保育者・母・友達のおかあさんという、いろいろな立場で子どもに接することができ他にはできない経験ができました。ありがとうございました。



ギターを片手に子どもたちと歌を歌ったり、手遊びや絵本を読んだり、お家から事前準備をたくさん考えてきてくださいました。保育者ではなく友達のお父さん・お母さんが披露してくれた遊びはとっても新鮮で保育者には出せない温かさを感じました。私たち保育者もお家の方のように、ぬくもりを感じられるような保育を心がけたいと思います。参加くださった方々、本当にありがとうございました。今後は今在家分園や三宅分園でも予定しています。